

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
公衆衛生学実習	3年次	必修	実習	1単位（45時間）	小林 健司	
授 業 概 要						
公衆衛生活動について集団の話し合い、学術調査法、公衆への説明までを組み上げる。また、環境の測定による環境評価を行うことにより生体と環境の関係についての理解を深める。以上より栄養士・管理栄養士として社会貢献する上での基本的な知識と技術を修得する。						
到 達 目 標						
自ら選んだ地域保健に関する問題に対し、その原因と対策を調べ今後どのような対策が必要であるかを考察することで、地域保健における公衆衛生活動の必要性を理解する。また、実際の環境測定法を体験することで環境の評価法を理解する。						
実務経験のある教員						
回	学 習 内 容				担当教員	
1・2	公衆衛生学実習について（ガイダンス）				小林 健司	
3・4	環境測定およびレポートについての説明					
5・6	環境測定（水質検査）					
7・8	地域保健実習の説明（グループ発表・個人レポート）					
9・10	地域保健実習①（グループでの話し合い）					
11・12	地域保健実習②（レポート作成）					
13・14	地域保健実習③（レポート作成）					
15・16	地域保健実習④（レポート作成）					
17・18	地域保健実習⑤（レポート作成）					
19・20	地域保健実習⑥（プレゼン作成）					
21・22	地域保健実習⑦（プレゼン作成）					
23・24	地域保健発表会					
学 習 方 法						
実習						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 水質検査レポート、地域保健実習個人レポートおよびグループ発表で総合評価する。						
先 修 科 目						
教科書、参考書						
〔参考書〕 シンプル衛生公衆衛生学 南江堂 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会						